

写真の切り方は、その人の性格が表れやすい部分。

履歴書で最も目立つのは、写真です。

文字より写真のほうが訴える力が強く、注目が集まります。

履歴書に貼る写真は、少しでも写りがよくなるよう、評判のよい写真館で撮影することをおすすめします。



さて、いくら写真がきれいであっても、意外な点で評価を落とすことがあります。

切り方です。

写真は、写真だけでなく、切り方も見られます。

いいかげんな切り方になっていないでしょうか。

たとえば、切り方が斜めになっていたり、サイズからずれていたりなどです。

切り方にも、その人の人柄が表れます。

いいかげんな切り方をしていれば、いいかげんな性格であると伝わるでしょう。

「サイズ指定は、だいたいでもいいだろう」と考えていることがわかり、ずぼらな印象が伝わります。

一方、切り方もサイズもきちんとしていれば、その人もきちんとした性格と伝わるでしょう。

「細かい点でも手抜きをしない」という、応募者の注意深さが伝わります。

写真の切り方は、その人の性格が表れやすい部分です。

履歴書の写真は、きれいに撮影できればいいと思うのではなく、規定に従った切り方を心がけましょう。

切り口が垂直でまっすぐになるよう、切るときは、定規とナイフを使うといいでしょう。

自信がなければ、鉛筆やボールペンなどで、薄い線を引くのもアイデアです。

規定のサイズがあるはずですから、1ミリ単位まで、正確に合わせて切るようにしましょう。

履歴書を上手に作成するポイント その24

履歴書に貼る写真は、切り方にも注意する。